時事新報

大資本家の要用

艱難を共にして困苦に處する間には互に相慰めて世の憐さを憫しとせざるのみとも左程人生に難らざる所なれども一方の次第に富貴に進むを見て其出世を心に觀するが如きは蓋し盛徳の君子に非ざれば能くせざる所あるべし左れば其富貴は不正不義によりて得たるものに非ざれども唯他の世間に時めくを慊しとせざる一片の私情より如何にもして之を傷つけんと欲し私事内行に迄も立入りて只管攻撃非難の材料を求むるは澆季なる浮世の常態にして今更事新しく云々するにも及ばざるのみか在昔德川の時代には政府の政策にも自から此意味を含みて富豪家の抜群に身代を高むるは經世の爲めに宜しからずと悟りたるみとならん時として非常ある法令を發し凡ろ金錢貸借上の紛紜は之を法廷に持出さずして示談にせよと命したる事例もあり即ち貧人の借金は返すに及ばずと公言したるも同様にして文明の法理には適せざる様なれども貧富平均の政策自ら當時の宜しきに叶ひたるものにして敢て非難するにも足らざるべし然りと雖も此等の事たるや鎖國封港の世の中にありて日本人が他の人種を交へざる時代には至極適當の處置ならんあれども國を開いて外人と競爭し互に活劇場裏に立たんとするの場合に際しては舊時の治安策を却て離儀の種にして海内の同胞に非ざる外國人の爲めに國の資益を蹂躙せらるゝの懼なきにあらず蓋し今の世界は金權の向ふ所前あしとは云ひあから日本國内に於ては富者と貧者との間に自ら德義上の關係深くして假令へ金權に逞しきも世間の物論を憚りて遠慮する意味も少なからずと雖も外國人の身には素より此邊の會釋ある可らず單に資本金の金力を振ふて人情の外に勝手次第の運動を働く可きが故に日本人は貧富諧共に其鋒に辟易して一時の不利あきは保し難かるべし今日の所にては外人の居留地に一定の區劃ありて[illegible]き内地の事業に向て縱横に資本を投するみと能はざれば先づ以て無難に經過する様なれども近來其筋に於て頻に條約改正の談判を取急ぎ着々協議を整ふるの趣あれば治外法權の撤去と共に内地雜居を許すの日も思ひに遠きに非ざるべしいよ〳〵其曉に至れば入込み來る外人に拮抗し徒に利益を奪はれざるの用心みろ肝要事にして能く此任に當るものは富豪家の一流に外あらざれば我國人たる者は鎖國の夢を夢みて富豪を押下ぐるの迂計を捨て多々ますく大ならしむるの工風に[illegible]らんとを希望するものあり

汽車の魚類運賃

[illegible]日新橋神戸間鐵道にて發車の時刻を改め又乘客の賃金を引下げたるは我輩の大に贊成する所にして猶は各種の[illegible]に於ても亦同様の擧あらんとを望むものなり之に[illegible]て貨物の運賃をも定めて低減するとならんと待設けたりしに未だ左様の譯には參らずして依然舊の如しとは不審の次第なり本來汽車の運賃は何を標準とせしものなるや知る可らずと雖も賃錢を引下げて發車を[illegible]くするときは貨物の數量を増して發車の[illegible]くも猶は收入に利益を見るは必然の所あるべし[illegible]此等の[illegible]あらんとを希望すると同時に[illegible]に付て聊か一言せざるを得ず今日の所[illegible]の區別ありて就中鮮魚類は最高價に位するものあり是れ蓋し腐敗の懼あるが故に其取扱方の面倒あるに由るものならん歟なれども日本人の衛生上より考ふるに鳥肉牛肉抔は屈竟の滋養物なれども是は直段の高きが爲め中等以下の人民には常食として強ゆ可らず愛に魚類みろ千百年來の習慣もありて左程に高價ならずと云ふにも非ざれば恰も鳥牛に代て衛生を助くるに足るものなるべし左れば我輩は鐵道の次第に開くるに從ひ是まで容易に魚類を得難かりし地方にも即時に配布するを得て衛生の道を擴張するとと信じ竊に世人の爲めに賀意を表せしに扨實際に臨みては鐵道の運賃の高きが爲め思ひし程の好都合には至らずと云ふ鐵道の爲めに計りて魚類の運賃を特別に高貴ならしめざるも荷物の増加に割合はせて敢て損失あきのみか其等級の標準も甚だ正確を欠きて而して其結果は衛生上の助けをあすに足らずとすれば我輩は少しく遺憾なき能はず故に鐵道の運賃は總體に之を引下ぐべき中にも魚類の如きは特に速に運賃引下げの美擧あらんと希望に堪へざるあり

官報

○文部省告示第九號

大坂府府立大坂商業學校

右ハ明治二十二年(一月)法律第一號徴兵令第十一條ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ノモノト認ム

明治廿二年七月十九日　文部大臣子爵榎本武揚

雜報

○電燈會社の競爭　東京電燈會社の反對に立ち東京市内に別種の電氣燈を架設せんと企てたるは品川電燈會社あり之に就ては種々仲裁せる人もありしかど遂に双方の熟議を達するを得ず彌々競爭の事に落着したり東京電燈會社は品川本局の工事を取急ぎ八方電線を架設するの設計已に成りて直に着手せんとするに又々日本橋、本所兩區に於て反對に立てる日本電燈會社創設の計畫ありさてみそ東京電燈會社は南に東に營業の敵手顯はれ來て一日も猶豫すべからざれば遽に豫て目論見中ある増局を急ぎ百方手配を爲して競爭の用意を爲すに就ては更に資本金を増して百萬圓に爲し大に事業を擴張するの覺悟なりと然るに今又一の反對者顯はれ來れるは神田區の電燈會社なり右等の電燈會社は誰某が發起人あるか又互に彼是連絡せるものか或は各自獨立の會社なるか其邊は未だ聞及ばざれども兎に角何れも非常の熱心を以て最寄の需用者を頻に募集最中なり其申分には十燭光一燈終夜の點火料一箇月間五十錢とし東京電燈會社の點火料より恰も三分の一低廉なりと吹聽らし大に一般の人氣を引寄せたりと云ふ現に英國にても米國にても十燭光電燈一個一箇月間の點火費用は七十セントを要するとの計算は確ありと聞及べるも現に百事日進の世の中殊に電氣機の進歩は最も顯著なる今日のとあれば何れにも近頃又新發明の機械を造り出したるともあるならん夫は暫く措き右の新電燈會社に取て茲に營業繁昌の資本を得たりと云ふべきは目下孰れも頻に需用者を募集するに當り區長の周旋盡力の到れるに在り或る區長の如きは日々馬車を驅て奔走し或は役所の書記を派出し區内の人々に說かしむる抔にて之か爲めあか〳〵繁忙を致せる趣きなり競爭の行末如何なる結果を呈すべきや何には兎もあれ双方の競爭は我電燈事業の進歩を促し一方には需用者の利益を來すに外あらざるべしとあり

○前大統領ヘーエス氏の夫人死去す　千八百七十七年より四年間米國大統領の職に在りしヘーエス氏の夫人は去月二十四日病死したる由あるが同夫人は千八百三十一年に生れ同五十二年十二月三十日ヘーエス氏と結婚し南北の大戰爭起り氏が陸軍に入るに及んで氏に從ひヴァーヂニアの陣營に再び冬を經過したりしに不幸にも氏はサウス マウンテン の戰爭に重傷を負ひしかば夫人は大に驚き早速氏を病院に入れ能く介抱せしゆゑ遂に快復したり千八百七十一年ヘーエス氏が大統領の職に就くに及んで夫人は氏と共にホワイト ハウスに居を占め四年の間大統領の官邸を訪ふ人々に對して實意を表せしかば大に人々の敬愛を受けヘーエス氏の退職後婦人救助會員となり又メソヂスト エピスコパル寺院の内國婦人布教會の會長に撰ばれ其名を知られしが今回病に罹り醫藥其效を奏せず長逝したりと云ふ

○カメロン將軍の死去　米國レパブリカン黨の名士ブレーン氏等が未だ政治社會に頭角を現はさゞりし頃政治界の雄將と仰がれしシモン カメロン 將軍は去月二十六日の夜病死したりと云ふ將軍は今より九十年前に生れ九歳の時兩親を失ひ十七歳にして活版所の徒弟となり一代の間に數百萬弗の財產を作りし人にして千八百四十五年始めて米國上院議員に撰ばれ有名なる[illegible]コルン氏大統領の職に就くに及んで内閣に入り陸軍卿となりたれ共南北戰爭の際國民の怨を受けて同六十二年に辭職し其後露國駐在の公使に任ぜられ同六十六年再び上院議員に撰ばれサムナー氏の後を襲いで外務取調委員の長となり同七十七年に至り遂に辭職して安樂する生活をなしたりしに今回九十歳を一期として死去したるなりと

○中澤監督　會計事務觀察の爲め大坂及大津等の兵營巡視を命せられたる陸軍省會計局第三課長二等監督中澤永秀氏は此程東京を出發したるよし

○内國大博覽會々議　去る十七日農商務省中の内國勸業博覽會事務局に於て内國大博覽會々議を開き花房事務官長も出席し二三の高等官と午前九時過より十一時頃迄協議ありしと

○國會準備新報　目下休刊中なる同新報は今度京濱二三の有力者が後楯とありて藤田氏との關係を絶ち碣富義壽氏が引受けて來る八月三日より紙面を改良し更に發兌するとなりたるよし

○京都博物館の用地　として南は三十三間堂、北は豊國神社、東は妙法院前、西は大和大路東側迄を仕切る都合にて其本館は洛東大佛境内舊恭明宮の跡に建設する事となり去る十六日右用地内民有に係る地主を京都府廳に召喚の上心得違なく地價及び立木其他一切の買上料轉宅料共相當なる價格に見積り來る廿二日迄に差出すべき旨を達したる由なるが右の地主中には異議なく府廳達の旨に從はんと云ふものあれば又地價三倍の外に相當の保護を受けん抔と說くものありしが結局地主會合の上右買上地に係る一切の相談をなす筈にて此民有地四町餘の地價は最低一坪四錢五厘、最高五錢五厘なりといふ

○織機の改良と水車の發明　多年機織器械の製造に工風を凝らし幾度か改良を加へて漸く此頃一の簡便ある器械を拵へ上げたる芝區櫻川町三番地小林精作氏は去る十七日朋友知人を招きて其の披露に及び併せて新發明水車をも示したる由あるが今一覽したる人の話を聞くに本來蒸氣力に實て器械を運轉するが最も妙なれども水車を設けて水力を利用するも亦妙なりとのみとにて同氏